

KANAE

Environmental
and Social Report

2016 環境・社会報告書

Top Message

お客様でカナエは 創業60周年

当社は1956年3月29日の創業以来、「包装」を核に事業を展開し、2016年3月で創業60周年を迎えることができました。これもお客様、お取引先様をはじめとする数多くのステークホルダーの皆様方にご支援をいただいたおかげと感謝申し上げます。

4月には、お取引先様をお招きして「感謝の集い」(→本紙p.16)を開催いたしました。ご多忙にも関わらず、数多くのお取引先様にご来場を賜り、誠にありがとうございました。当社が事業を営み、お客様に製品やサービスをお届けできるのも、多くのお取引先様に支えていただいているおかげと、従業員一同あらためて認識をいたしました。これからも当社と継続して取り引きしたいと思っていただけるよう邁進してまいります。

2016年度と 第6次中期経営計画のふりかえり

2016年度は第6次中期経営計画の最終年度でしたが、目標とした収益計画は残念ながら未達成となりました。お客様にご支持いただける新しいパッケージの開発の遅れや、厳しい市場環境の中で、お客様に「総合包装企業」としての当社の独自性を発揮することができなかったことが要因です。

一方で2015年からスタートした「業務改革プロジェクト」においては、60年間の事業活動の中で業務プロセスの様々な場面に蓄積した澱(おり)を取り除くため、業務の効率化を進めてまいりました。本プロジェクトを推進するために業務改革推進室を新設し、多くの従業員が本プロジェクトに参画し、改善・改革活動は着実に進捗しています。全社を巻き込んだ大掛かりな改善・改革活動は、当社においてこれまでになかった動きです。

100年企業を目指して ～お客様に選ばれ続ける企業となるために～

日本には100年を超える長寿企業が26,000社以上あるそうです(帝国データバンク)。100年企業の特徴のひとつは、「変化に柔軟に対応できること」だそうです。つまり、「お客様から選ばれ続けるために変化できる企業」だけが100年企業となれるのです。当社はまだ60周年を迎えたばかりです。お客様に変わらず選ばれ続けるために、様々に変化するお客様のニーズやその先の消費者・使用者のニーズを適確に捉え、「包装」を通じて価値提供し続けられるよう取り組んでまいります。

当社の2020年のビジョンは「新しいパッケージで市場創造型企業No.1」であります。2010年に制定したこのビジョンは、包装を通じて新たな価値を創造したいとの思いが込められています。60年間に蓄積した包装に関わる様々な知識・ノウハウをベースに、研究開発を積み重ね、お客様に選ばれ続ける企業となるべく不断的努力を続けてまいります。

第7次中期経営計画について

東京オリンピックが開催される2020年度までの4年間を対象期間に、第7次中期経営計画を策定いたしました。2010年度に策定した長期計画の最終期間にあたります。

医薬品分野・化粧品分野・食品分野・トイレタリー分野・メディカル分野の5分野を重点分野とし、当社および当社のグループ会社(→本紙p.5)の総力を結集し、「包装」を通じた価値提供をすすめてまいります。



企業の社会的責任を果たす ～当社のCSR活動について～

近年、当社のお客様をはじめとするステークホルダーの皆様からの「企業の社会的責任を果たす(CSR)」ことへの要求事項はますます高くなっています。

当社ではこれまでも積極的なCSR活動を行ってまいりましたが、より体系的な活動への転換が必要と考え、2016年度に「CSR方針」「CSR指針」「調達基本方針」を制定しました。2017年度からはCSRに関する会議体を新たに設置し、これまで以上に「本業」を通じた活動になるように取り組んでいます。(詳細は[特集2]を参照)

生物多様性への取り組み・ 地域社会への貢献

2014年より関西地区で開始した生物多様性への取り組みである「フクロウの森 再生プロジェクト」も2年が経過しました。月に1度の活動で竹の伐採を進め、一部ではありますが広葉樹の植樹ができるまで整備が進んでいます。また行政とも連携し、「森」を活用したさらなる地域への貢献も検討しています。

岸和田市、地元NPO団体と協力し、近隣住民にも参加いただける植樹イベントを開催いたしました。生物多様性への取り組みとしてスタートした本活動ですが、地域コミュニティとの関わりとしても意義のある活動となっています。

今後は同様の活動を関東地区でも取組めるように準備を進めてまいります。

ステークホルダーの皆様へ

環境・社会報告書は、多くのステークホルダーの皆様にかねてより身近に感じていただければと思い作成しております。

ご一読いただいた際には、当社の活動について

忌憚のないご意見・ご助言を賜りますよう、

よろしくお願い申し上げます。

取締役会長
岡本 邦昭



代表取締役社長
田中 勝人



Corporate philosophy

企業理念・社訓

私たちが企業活動を行う上で大切な価値観を明文化したものが企業理念・社訓です。
当社を取りまく環境が変化していく中でも、見失うことのない価値観を明示するものであり、当社が「企業の社会的責任(CSR)」を果たしていくためのすべての要素が含まれています。

企業理念

社員の人生の充実を重んじ、希望と誇りと働き甲斐のある企業にする
顧客第一主義に徹する
健康と豊かな生活を創造し、社会に貢献する
情報と知恵を活かし、顧客満足を創造する
地球環境にやさしい企業活動を行う
企業の社会的責任を果たしていく

社訓

ニュー・ニューフロンティア精神を持とう
見るよりも見られることに徹しよう
実るほど頭をたれる稲穂かな
独創性を追求しよう



理念手帳「鼎心」

企業理念・社訓の浸透 鼎心(ていしん)

当社の「理念」について、その意味を当社の経験に基づき全社員が共有し、次の世代へ引き継ぐために冊子「鼎心」を4年前に作成しました。

「鼎心」は全社員に配布し、朝礼等で社員同士がその内容について問いかけ、語り合うことにより、理念に基づいた行動や考え方を身に付けることに活用しています。また、「鼎心」は私達が日々の業務で悩んだ際、先人たちの知恵として私達を正しい方向へ導く大きなヒントにもなっています。

鼎(かなえ)



社名であるカナエは、中国の食物を煮る金属性の器【鼎】より採ったものです。この食器が三本の足に支えられて役目を果たしていることに共通点を求め、三位一体の和を強調しております。三位とは人・物・金を意味し、協力・努力・忍耐力の三つの力を総合したものであります。三つの力が均衡を保ってバランスを崩さず発展するように社名がつけられました。

Index

目次

1. Top Message	1-2
2. 企業理念・社訓	3
3. 目次、会社情報	4
4. 事業内容	5-6

特集

1. パッケージを通じた社会貢献	7-8
子供の医薬品誤飲防止に向けた取り組み	
ICTを活用した服薬管理システム	
台紙とPTPを組み合わせた包装	
環境に配慮したパッケージ	
付加価値の高いパッケージ開発への取り組み	
2. CSR活動の取り組み	9-10
CSR方針について	
調達基本方針	
CSR活動の社内展開	
CSR教育	

環境活動

1. EMS活動	11
2. 第4次環境中期計画の結果	12
3. 環境指標一覧	13
4. 第5次環境中期計画について	14

社会活動

「お客様とともに」	15-16
1. お客様満足向上への取り組み	
2. 品質の取り組み	
「お取引先様とともに」	16
1. 感謝の集い	
「従業員とともに」	17
1. 女性活躍の推進について	
2. 東京支店の移転	
3. クラブ活動	
「地域社会とともに」	18
1. カナエの森	
2. みちのく未来基金	

株式会社カナエ 会社情報

設立	1956年3月29日
資本金	3億5,381万4,600円
取締役会長	岡本 邦昭
代表取締役社長	田中 勝人
従業員数	404名(2016年10月現在)
売上高	242億円(2016年10月)
事業所	本社、東京支店、名古屋営業所、 富山営業所、流通センター、 包装技術開発研究所、神戸工場、 栃木工場、愛媛第一工場

編集方針

当社では、企業の社会的責任(以下、CSR)について会社として推進すべき重要課題として位置づけ、活動しております。本報告書は、当社の環境およびCSRに関する取り組みを皆様に報告することを目的に発行しております。「環境活動」「社会活動」の2つを軸に、環境に配慮した企業活動や地域社会の貢献として森林の保全活動などをご紹介します。

報告期間

2015年10月21日～2016年10月20日

参考にしたガイドライン

「環境省 環境報告ガイドライン2012年版」

Business contents

事業内容

～お客様のパッケージへの「想い」をカタチに～

当社は「総合包装企業」として、包装材料、包装加工、包装機械とパッケージの全ての分野に精通しています。包装材料では500社以上の素材メーカーとのネットワークで最適な材料をお客様に提案し、包装加工では多種多様な包装を試作から受託製造までできる加工技術を備えた工場を所有しています。そして、包装機械では使う立場に立った包装システムのご提案を行っています。

また、当社の付加価値として、お客様に安全・安心をご提供するため、品質保証体制の充実を図っています。さらには、包装技術開発研究所を設け、独自の包装技術や包装形態、蓄積された経験を活かしお客様のパッケージに関するお困りごとを解決できる体制を整えています。

また、グループ会社には包装機械を専門に取り扱うカナエエンジニアリング(株)、トイレタリー・化粧品関係の受託包装を主業務としている(株)カナエテクノス、食品包装を専門とする(株)カナエシーエスパックがあり、カナエグループ全体で包装へのトータルアプローチを実現しています。



カナエグループ



カナエエンジニアリング株式会社
包装材料・包装加工・包装機械の3つのノウハウを活かした機械を企画・設計・制作・施工しています。



株式会社カナエテクノス
ウェットティッシュ製品、ゲルシート製品などの受託加工を業務としています。独自の商品開発力と特殊加工技術を保有しています。



株式会社カナエシーエスパック
食品・機能性食品・健康食品などの充填・包装加工を業務としています。

包装材料



お客様へ最適なパッケージをご提案

お客様のニーズを包装材料の選定から包装形態の設計、さらには生産適正にいたるまで多角的に分析。蓄積したノウハウと情報を活かして最適なパッケージをご提案いたします。

包装加工



独自のノウハウと技術で商品価値を高める包装加工業務

お客様から委託を受けて包装加工を行う「コントラクト・パッケージング(受託包装)」と、最終製品まで仕上げる「コントラクト・マニファクチャリング(受託製造)」。包装加工は、当社の各種業態許可を得た技術力、品質管理力、生産能力が最大限に活用できる分野で、お客様の期待にお応えできる体制になっております。

包装機械



カナエだからできる最適な「ものづくり」のご提案

包装材料の特性を熟知したエンジニアが、お客様の視点に立ち、課題を的確に捉えた上で、操作性、機能性などに優れた包装機械をご提供いたします。また、各商品の製造工程に最適な加工・包装ラインの企画・設計についてもご提案いたします。

Feature

特集 1 パッケージを通じた社会貢献

子供の医薬品誤飲防止に向けた取り組み

2016年7月に厚生労働省より子供の医薬品誤飲対策として、包装容器による事故防止策の検討について通知があり、今後国内においてもチャイルドレジスタンス(CR)包装の導入検討が本格化してくる可能性があります。

当社は様々なCR包装を海外からの導入品も含め取り扱っており、お客様のご要望に応じた設計・提案を行っています。CR包装の一例としてラベルをめくってからでないと薬剤を取り出せないPTP(Dose Guard)や、ボタンを押しながらでないとPTPを引き出すことができない紙器とPTPが一つになった包装(DosePak®)などがあります。

CR包装の一例



ICTを活用した服薬管理システム

当社はICTと包装材料を組み合わせた服薬管理システム「MEDLLECT(メドレクト)」の実用化を目指し、開発に取り組んでいます。

MEDLLECTはアルミ箔側に電子回路を備えたPTPと専用のタグで構成される包装体で、クラウド上で患者さん情報・服薬履歴を管理するアプリケーションと連動する仕組みとなっています。薬剤の取り出し時にアルミ箔側の電子回路が断線された時刻が服薬時刻としてクラウドに記録されるため、クラウド上で患者さんの服薬履歴を管理することができます。

アプリケーション対応のスマートフォンやICカードリーダーを装着したパソコンなどを用いてデータを読み取ることでクラウド上の服薬履歴管理システムにアップロードでき、患者さん(またはご家族)がアクセスして飲み忘れなどを確認できるため、かかり付けの医師や薬局の薬剤師が患者の服薬状況や服薬パターンなどを把握し、服薬指導に役立てることが可能となります。

現在、調剤薬局に協力いただき実証試験を行いながら、タグの小型化による使用性の向上や、加工適性向上のため包装体に使用する材料の見直し等、実用化に向けて改良を進めています。



台紙とPTPを組み合わせた包装

さまざまな用法・用量の経口薬剤の服薬遵守のために、台紙とPTPを組み合わせた包装形態が上市されています。台紙と組み合わせることで多くの情報を患者さんに伝達でき、また服薬日等の情報を台紙に直接書き込める等、服薬遵守への貢献が期待されます。

当社はecobliss®というシール時に熱が不要で圧力だけでシール可能な台紙包装を販売しています。ecobliss®は台紙シール時に熱が不要なため従来の加熱接着タイプと比べて、加熱工程削減による消費電力の削減といった環境負荷低減効果を実現できます。



環境に配慮したパッケージ

サトウキビから砂糖を精製した時に出る副産物等の植物由来の原料を使用したパッケージの拡販活動を進めています。カーボンニュートラルの考え方から、従来の石油由来の原料を使用したパッケージに比べて温暖化ガスの排出量を削減することができます。



付加価値の高いパッケージ開発への取り組み (2016 日本パッケージングコンテスト受賞)

公益社団法人 日本包装技術協会が主催する「2016 日本パッケージングコンテスト」において、「PATTERN/パウチ」(エンボスパウチ)が、【化粧品包装部門賞】を受賞いたしました。

「PATTERN/パウチ」は、アルミラミネートフィルムにエンボス加工が施工されたパウチ製品です。当社は加工技術で付加価値を付けることで、環境への負荷を抑えながら高級感のあるパッケージを演出しています。今後も環境への配慮と意匠性を考慮したパッケージによる価値の提供を行ってまいります。



CSR方針

当社ではこれまで、環境負荷低減活動、倫理規程の制定、次世代育成支援対策推進法に基づく計画実行、里山再生事業への参加など、積極的に取り組んでまいりました。

この度、これまで行ってきた様々な活動を企業理念・社訓・重要経営課題に沿って体系化し、より本業を通じたCSR活動へと発展させるため、ISO26000に則り「CSR方針」と「CSR指針」を、2016年10月21日に制定しました。

社内では従業員一人ひとりが主役となるCSR活動を目指し、「CSR 7つの中核課題」を当社の本業である「包(つつむ)」にポイントを置き周知を図っています。当社のCSR活動は、私達が果たすべき企業の社会的責任に取り組むだけでなく、包装のトータルサポート力を活かし、お客様の「企業の社会的責任を果たす」ことにも貢献することを目指しています。

● CSR方針

「包(つつむ)」で安全安心を創造し続けます。

● CSR指針

CSR 7つの中核課題	CSR指針
人権【社員の人生を包む】 社員が家族に誇れる職場づくり	あらゆるハラスメントを排除するとともに、誰もが働きやすい環境づくりと、教育体制構築を推進します。
労働慣行【職場を包む】 安全衛生、ワークライフバランス	社員だけでなく、家族も安心できる職場風土の醸成に努めます。
消費者に関する課題【お客様と消費者を包む】 安全安心とパッケージによる課題解決	安全・安心と使いやすいパッケージを追求します。
公正な事業慣行【ビジネスを包む】 コンプライアンス、公正な商取引	高い倫理観を持ち、社会から必要とされる人財を育てられる企業を目指します。
組織統治【会社を包む】 組織統治(内部統制)	内部統制を強化するとともに、いかなる状態でも事業継続ができる体制構築を推進します。
環境【地球を包む】 環境方針の実践	ひとや環境にやさしい企業活動を実践します。
コミュニティへの参画及び開発【社会を包む】 地域社会への貢献	社会と共に成長し、誰もが喜びと感動を感じていただける企業を目指します。

調達基本方針

CSR方針・CSR指針に合わせ、調達基本方針を2016年10月21日に制定しました。2017年は、社内への周知とサプライヤーと接点をもつ従業員への教育を行ってまいります。また、サプライヤーに対しても本方針の周知を図り、適正な購買活動を継続します。

調達基本方針

平成28年10月21日

株式会社カナエ 代表取締役社長 田中勝人

【基本方針】私達はカナエCSR方針、CSR指針に基づき、以下のとおり調達活動を展開していきます。

1. コンプライアンス
(労働慣行) 各種関連法令を遵守し、社会的な要請に応えるため、人権・労働安全衛生に十分配慮した活動を行います。
(機密保持) 業務上知り得た情報は、情報提供いただいた方の承諾を取らずに第三者へ漏らすことはありません。
2. 公正な取引
(公平・公正)
新たに取引を希望される取引先に対しては、品質・納期・価格・技術・経営の安定性・企業の社会的責任(CSR)の取組み等を総合的かつ公正に評価し、その国籍・地域・企業規模等にとらわれることなく真摯な姿勢で対応します。
また、既存取引先に対しても同様の評価を行います。
(購買倫理)
取引先と私的な利害関係は持ちません。また、発注者の地位を利用した不当な圧力を用いることはありません。
3. 取引先との共存共栄
取引先をパートナーと位置付け、適正な品質・納期・価格を確保し安定的な取引を実現する事を通じ、WIN-WINの関係を目指します。
4. 環境
環境に配慮した購買活動を行います。
5. サプライチェーン管理
全ての購買先に対し、本方針に基づく取組みを啓蒙していきます。

以上

CSR活動の社内展開

CSR方針の制定にあわせ、CSR中期計画を策定しました。当社のCSR活動は本業を通じ、従業員1人ひとりが主体となる活動を目指しています。そのため、第7次中期経営計画にて各部門が策定したKGI※1・KPI※2の一部をCSR中期計画の目標とし、各部門のKGI・KPIの進捗がCSR活動に連動する仕組みとなっています。また、各部門の目標設定に入っていない活動についても、組織や会議体の協力を得られる体制を構築し、全社的な取組みにより成果を出していきたいと考えています。

※1 KGIとは「Key Goal Indicator(キーゴールインジケター)」の頭文字を取った略語で、日本語では「重要目標達成指標」と訳されます。

※2 KPIとは「Key Performance Indicator(キーパフォーマンスインジケター)」の頭文字を取った略語で、日本語では「重要業績評価指標」と訳され、目的を達成するための過程を計測するための中間目標を指します。

CSR教育

2014年より全社員に対して集合型のCSR勉強会を開催しています。これはCSR方針の制定までの、準備期間として社員1人ひとりがCSRの意味を理解し、活動に入りやすい環境づくりを目的として行っていました。この勉強会は今後も継続して行う予定で、各回にCSR7つの中核課題からテーマを絞り、CSRに関する理解を一層深めることを目指してまいります。



2016年のCSR勉強会の様子



CSR方針

Environmental activities

環境活動

EMS活動(EMS: Environmental Management System)

資源の枯渇、地球温暖化といった環境問題は、当社として積極的に取り組むべき経営課題として認識し、企業理念の「地球環境にやさしい企業活動を行う」をもとに制定した環境方針に従い、環境保全活動を推進しています。本社、東京支店、名古屋営業所、富山営業所、流通センター、神戸工場、栃木工場でISO14001を認証取得し、EMS(環境マネジメントシステム)として運用しています。

2017年より環境方針に「省資源の推進」と「生物多様性に配慮した活動の推進」を追加し、今後、水資源の削減等の活動を展開していきます。

環境方針

環境理念

当社は、<豊かな自然に恵まれた地球>、その環境を永遠に保っていくことが我々人類の果たすべき使命であると自覚し、環境に配慮した製品造りを行い、良き社会の一員として地球環境にやさしい企業活動を行います。

行動指針

- 1) 総合包装企業として包装資材及び包装機械の開発販売並びに受託包装加工を事業としている当社は、エネルギー使用に起因する地球の温暖化、容器包装廃棄物による地球の荒廃等の地球環境をとりまく諸問題を真摯に受け止め、当社の企業活動から生じるこうした環境汚染の発生を予防し、環境への影響を可能な限り減少させるための改善に努力します。

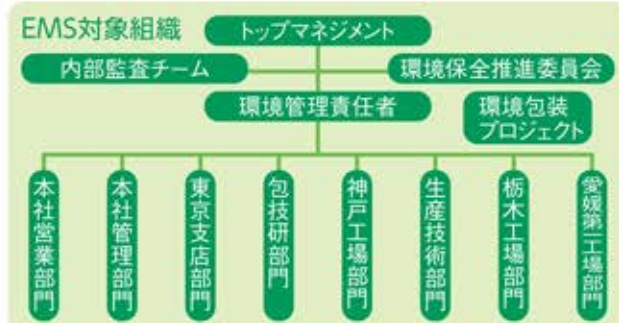
- ①容器包装廃棄物の削減とリサイクル化の推進
- ②省エネルギー・省資源の推進
- ③環境負荷低減製品の拡販及び開発
- ④環境に負荷の少ない製品の製造
- ⑤業務効率化等プラス側面の取組み
- ⑥生物多様性に配慮した活動の推進

上記事項の改善のため環境目的及び目標を設定し、その実現に向けた改善プログラムを策定、実施します。そして定期的にその達成度を確認し、その見直しを図り、これにより環境保全のため継続的改善に努めます。

- 2) 当社は、事業活動に伴い適用されるあらゆる環境関連の法規制及び当社の同意した環境上のその他の要求事項を順守します。
- 3) 当社は、この環境方針を全社員又は当社のために働く全ての人に周知徹底させるために教育啓発活動を実施します。
- 4) 当社は、一般の人からの要求に応じこの環境方針を提供します。

EMS組織

当社のEMSは全事業所に組織があり、統括責任者と部門長を中心に、活動しております。



EMSの推進について

各部門の活動を「部門長会議」にて2ヶ月毎に確認し、全社の活動については「環境保全推進委員会」で3ヶ月毎に確認しています。

その後、活動実績をまとめ「トップマネジメントレビュー」にて社長に報告しています。

トップマネジメントレビュー

参加者: 社長、環境管理責任者、ISO事務局
内 容: 環境保全活動についての方向性の審議など

環境保全推進委員会

参加者: 環境管理責任者、各事業所の統括、ISO事務局
内 容: 全社の環境保全活動の確認及び見直し

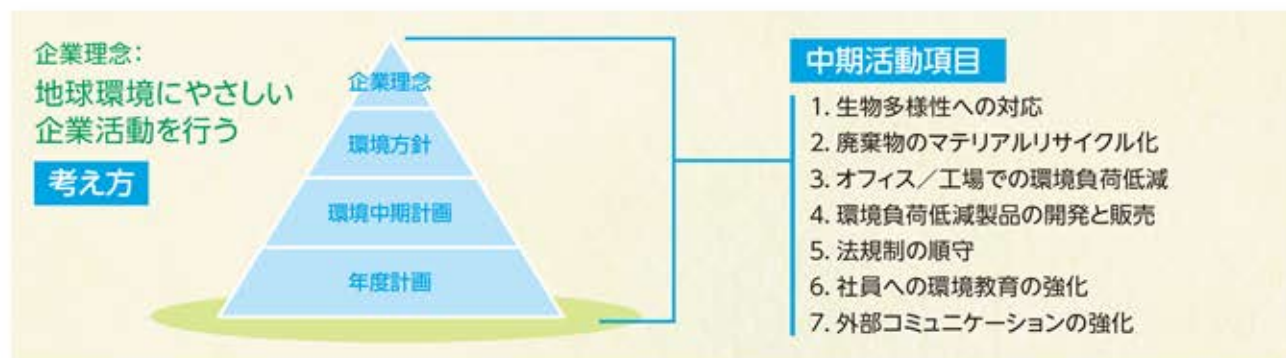
部門長会議

参加者: 統括、部門長、ISO事務局
内 容: 各事業所の環境保全活動の確認及び見直し

第4次環境中期計画の結果(2014～2016年度)

当社は企業理念「地球環境にやさしい企業活動を行う」の実現を目指し、中期経営計画の対象期間に合わせて、環境での具体的な目標を「環境中期計画」として策定し、活動を進めてまいりました。

2014年～2016年度を対象期間とする「第4次環境中期計画」では、「新たな活動への取り組み」をテーマに「生物多様性に配慮した活動」や「PTPのマテリアルリサイクル事業の調査」等を実施いたしました。また、2014年に竣工しました愛媛第一工場のISO14001認証取得に向け活動をしており、当社全体での環境保全活動を進めました。



● 第4次環境中期計画の結果について

活動項目	目標	実績	達成可否
一段高いレベルでの目的・目標設定	①マテリアル事業について調査が完了し、事業可否検討ができています ②本社、神戸工場の全従業員が「カナエの森」の活動に参加している	①マテリアル事業について調査を実施し、技術的に難しく、一蹴検討中止とした ②本社、神戸工場の従業員213名が参加。参加率95%で未達成となった	○ ×
全社員の環境意識の向上	①内部監査員、部門長経験者を26%以上に ②CSRに係る教育の実施 ③eco検定の合格者:30名以上 ④コミュニケーションが効率的にとれるツールの運用ができています	①経験者率が26%となり、達成 ②2016年8月にCSR勉強会を実施 ③eco検定の合格者:32名 ④全従業員がEMSの資料を確認できるドキュメント管理システムの運用を開始	○ ○ ○ ○
外部コミュニケーションの強化	①環境・社会報告書をステークホルダーに説明する ②取引先、グループ会社を訪問し、環境保全活動に12社以上、協力して頂く	①環境社会報告書を配布&周知活動を実施 ②委託先のF社、グループ会社のカナエシーエスバックの10社に活動を実施	○ ×
新規格への対応	①ISO14001の改訂に伴う変更対応 ②愛媛第一工場のISO14001導入準備を行う	①2016年10月より改定版での運用を開始 ②準備完了。2017年3月に認証取得予定	○ ○
廃棄物の削減	製造部門:リサイクル率97%以上	リサイクル率94%で未達成	×
温室効果ガス排出量削減	オフィス:2010年度比▲40%(絶対値) 工場:2010年度比▲3%(原単位)*	オフィス:2010年度比▲45%(絶対値) 工場:2010年度比▲3%(原単位)*	○ ○
環境負荷低減製品の開発 (自社オリジナル開発製品及び共同開発製品)	環境負荷低減製品(自社オリジナル品)の新規採用件数17件以上	環境負荷低減製品の新規採用25件	○
環境負荷低減製品の拡販	環境負荷低減製品の新規採用件数50件以上	環境負荷低減製品の新規採用93件	○
環境に負荷の少ない製品の製造	生産ラインの稼働率の向上&不良率の削減	栃木工場、神戸工場で15件の改善活動を実施したが、3件の改善活動で未達成となった	×
業務効率化等プラス側面の取り組み	業務効率化により温室効果ガス・廃棄物・コストの削減になっている	全事業所で43件の業務効率化を実施し、改善した	○
法規制及び当社の同意した環境上の要求事項の順守	自社基準を順守し、運用できている	自主基準を順守し、運用実施	○

*電力・ガスについては、それぞれ公表されている各社のCO₂排出係数(2010年度(調整後))での評価結果による目標値です。

Environmental activities

環境活動

環境指標一覧

CO₂排出量の削減

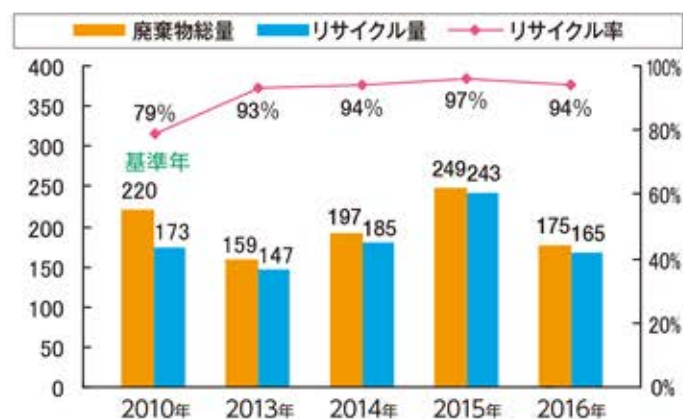
当社では、電力やガスの使用により発生するCO₂の排出を削減する活動を全事業所で推進しています。2016年度は基準年となる2010年度より約8%削減することができました。電力使用量は昨年より15%増加したものの、ボイラーの交換などにより、ガスの使用量が約40%削減でき、全社的なCO₂削減に繋がりました。



リサイクル率の向上

2010年度よりリサイクル率の向上活動に取り組んでいます。2016年度はリサイクルできない機械の部品の廃棄が多かったため、リサイクル率は94%に低下しております。今後、機械をリサイクルできる廃棄物処理業者を調査し、「ゼロエミッション*」に向け活動していきます。

*ゼロエミッションとは企業・産業で排出される廃棄物を、別の企業・産業の原料として使うなどして、トータルで廃棄物をゼロにしようとする取り組みのことです。



環境会計

カナエでは、環境保全のための投資や費用を定量的に把握し、その投資効果や費用対効果を知るために、環境会計を導入しています。

● 集計結果

単位(千円)

環境保全コストの分類		投資額	費用
1) 事業エリア内コスト	① 公害防止コスト	—	7,266
	② 地球環境保全コスト	28,167	14,499
	③ 資源循環コスト	—	10,501
2) 上・下流コスト		—	137
3) 管理活動コスト		—	10,548
4) 研究開発コスト		—	4,341
5) 社会活動コスト		—	1,237
6) 環境損傷対応コスト		—	—
合 計		28,167	48,529

● 主な投資の内容

単位(千円)

事業所	投資の内容	投資額
栃木工場	空調機器(R-22 フロンガス規制対象設備)更新	18,847
	空調用空気圧縮機効率化工事	4,330

● 経済効果

単位(千円)

事業所	経済効果の内容	経済効果額
神戸工場	太陽光発電売電収入	1,079
栃木工場		807
	合 計	1,886

【対象期間・集計範囲】

集計期間:2015年10月21日～2016年10月20日 集計範囲:全事業所 集計方法:環境省「環境会計ガイドライン2005年版」を参考に集計

第5次環境中期計画について

当社がISO14001を認証取得し、13年が経過しました。これまでに「温室効果ガスの削減」「廃棄物の削減」「環境負荷低減製品の開発・拡販」など、環境に配慮した活動に取り組んできました。しかし、2016年現在、地球規模で見ると地球温暖化やごみ問題などはまだまだ改善すべき問題であり、今後、人口増加などでさらに悪化すると予測されています。当社としてもより取組みを進めていく必要があります。

そのような状況を踏まえ、企業理念「地球環境にやさしい企業活動を行う」及び「環境方針」の内容を具体的な活動に落とし込んだ「第5次環境中期計画(2017年～2020年)」を策定しました。

第5次環境中期計画では今まで取り組んでいた環境活動よりも高い目標に設定しています。また、環境方針に新たに追加した「省資源の推進」は、水やガソリンなどを削減していく活動です。また、関西地区で実施している「生物多様性に配慮した活動の推進」については、関東の事業所でも同様の活動を実施し、地域社会での環境保全を推進していきます。

● 第5次環境中期計画の目標

活動項目	活動内容	2020年の目標
生物多様性に配慮した活動の推進	関西以外で生物多様性の活動を実施し、自然環境を保護する	関西以外で生物多様性に配慮した活動が実施できている
全社員の環境意識の向上	当社の社員が環境にかかわる業務を担当し、環境の教育を受けることで、環境に対する知識を深め、より高いレベルでの環境保全活動を行う	①内部監査員、部門長経験者を30%以上にする ②CSRに係わる教育を実施する ③eco検定(合格者:10名/年)
外部コミュニケーションの強化	ステークホルダーに当社の活動の取組みを説明し、評価して頂く	CSR報告書を発行し、ステークホルダーに説明できている
マネジメントシステムの実用化	環境とは別で活動している「労働安全衛生」の取組みを統合し、業務効率化を行う	EHSマネジメントシステムの運用ができている
廃棄物の削減	リサイクル率をあげることで環境に配慮した企業活動を行う	①リサイクル率99%以上 ②廃棄物の厳重管理ができている
温室効果ガスの排出量、資源の削減	温室効果ガスと資源を削減することで、地球温暖化の抑制や天然資源を保護する	①オフィス部門:2010年比▲46%(絶対値) ②工場:2010年比▲12%(原単位)* ③水・ガソリン:2010年比▲5%(絶対値)
環境負荷低減製品の開発	環境に配慮した製品を開発し、販売することで地球環境に配慮した企業活動を行う	環境負荷低減製品の新規採用件数52件(自社オリジナル開発製品及び共同開発製品)
環境負荷低減製品の拡販	お客様に環境に配慮した商品を提供することで、地球環境に配慮した企業活動を行う	全商品の売り上げに占める環境負荷低減製品の割合が7%以上になっている
環境に負荷の少ない製品の製造	環境に負荷の少ない製造をすることで、温室効果ガス・廃棄物を削減する	生産ラインの稼働率の向上、不良率の削減(年により対象機器を変更)
業務効率化等プラス側面の取組み	温室効果ガス・資源・廃棄物・コストの削減に繋がる業務効率化を行う	業務効率化により温室効果ガス・資源・廃棄物・コストの削減になっている(各部門で目標を設定する)
法規制及び当社同意した環境上のその他の要求事項の順守	法規制よりも高いレベルの自主基準で遵守することにより、環境・労働安全面での逸脱がないようにする	自社基準の内容を見直し、作成し、順守し、運用できている

*電力・ガスについては、それぞれ公表されている電力会社のCO₂排出係数(2010年度(調整後))での評価結果による目標値です。

Social activities

社会活動

「お客様とともに」

当社では、コーポレートメッセージ「お客様に喜びと感動を感じていただける会社になる」の実現に向け「お待たせしない対応の実践」「プロの仕事の価値提供」「CSマインドの実践」の三つをCS目標を掲げ、日頃より従業員の行動に落とし込み、全社的なCS活動として展開しています。

その活動の成果を把握し、課題を見出し、改善へと繋げていくために、以下の取り組みを行っています。

お客様満足度調査

2016年はお客様にCSアンケート(郵送調査)と訪問ヒアリングを実施し、当社に対する「満足度」や「継続発注意向」をお聴きしました。前回調査(2014年)より「満足」と回答いただいた割合が向上(17%→22%)し、「継続発注意向」も10点満点で9点以上の回答をいただいた割合が向上(33%→35%)しました。

これらの結果を分析すると、お客様と接する営業部門やその業務をサポートするスタッフ部門の「従業員」、すなわち「人」による対応が響いた成果であることがわかりました。

今回の調査結果を踏まえ、三つのCS目標に加えて、“全員が営業”を全社で推進していくことに致しました。“全員が営業”とは、営業部員に限らず 従業員全員がお客様の気持ちを感じ取って、自ら考え・行動することです。

工場来場時アンケート

2016年より愛媛第一工場を加え、当社の全ての工場(包装技術研究所含む)において、御来場いただきましたお客様に対し、「来場時アンケート」を実施しています。「お客様の声」を社内関連部門でタイムリーに共有し、改善と強化に取り組み、受託製品の安心・安全を追及してまいります。

JOYカード

お客様からの喜びの声を「JOYカード」として投稿する活動を継続し10年目となりました。「JOYカード」は、社内イントラネットや社内報にて従業員全員で共有し、CS活動の実践度を測るバロメーターと位置付けています。開始当初は年間90件余りでしたが、2016年は1,600件を超えました。

「JOYカード」の内容は横展開し、業務に携わった従業員のモチベーションアップに繋がっています。今後も継続し「JOYカード」に至る行動の質的向上(感動レベル)を目指していきます。

今後の取り組み

2017年より、スタートする第7次中期経営計画においてもアンケート調査や訪問ヒアリングを継続して実施し、お客様・お取引先様の声に柔軟に対応してまいります。そして、当社に期待される「価値」をCS活動にて磨き、より多くの皆様にご提供できるように「業務改善」を進めていきます。

引き続き、コーポレートメッセージであります「お客様に喜びと感動を感じていただける会社になる」ことを目指して、全社一丸となって活動していきます。

品質の取り組み

多様化する社会環境に迅速に対応しながら、お客様へ「安全・安心」な製品を提供・使用していただけるように、信頼性本部を設置して品質保証に関する方針や目標を決定し、全社的な品質保証活動を推進しています。

(1) 品質方針

- 1) お客様の視点で考え、当社の技術を結集してお客様の期待を超える品質をお届けする
- 2) お客様に提供する商品の安全・安心を保証する
- 3) 常に商品価値向上に向けた提案を行い、お客様とともに高品質商品を創出する
- 4) 品質・技術に裏付けられた迅速な対応によりお客様に感動を感じていただく

(2) 品質保証体制

◆包装材料に関する品質保証体制

包装材料の販売においては、厳格に管理された品質管理・製造管理の下で製造された安全・安心な包装材料の提供に努めています。なお、品質異常が認められた場合は、お取引先様の原因報告と対策を検証、対策の実施状況の継続的な確認や水平展開を実施する等、お取引先様と相互に意思疎通を図って、お客様への迅速な対応と品質向上に努めています。

◆受託生産に関する品質保証体制

包装加工の受託生産においては、GMPの順守はもとより、製造管理・品質管理を厳正に実施し、お客様に提供する製品の品質を保証するため品質保証体制やプロセスの継続的な改善と強化に日々取り組んでいます。

「お取引先様とともに」

当社は商社であり、お取引先様のご協力なくしては「お客様に喜びと感動を感じていただく」ことはできません。「お取引先様との共存共栄」は当社の経営基本方針の一つであり、2011年より隔年で「お取引先様満足度調査」として、直接話をお聴きするヒアリング調査と郵送での定量調査を実施しています。お取引先様のお声をお聴きしながら、お取引先様との「共存共栄」を図ってまいります。

感謝の集い

2016年4月5日に創業60周年感謝の集いを開催しました。この行事はお取引先様をはじめ、日頃お世話になっている皆さまに感謝の気持ちをお伝えするため、5年毎に開催しています。今後も社員一同、お取引先様のご期待に応え、ご満足いただける関係を築けるよう、努力してまいります。



Social activities

社会活動

「従業員とともに」

当社が「お客様に喜びと感動を感じていただける会社になる」ためには、従業員が心身ともに健全な状態で仕事を行うことが重要だと考えています。従業員が働きやすい環境作りを実施し、より活気のある企業を目指してまいります。

女性活躍の推進について

女性が十分に能力を発揮し、活躍できる環境を整備するため、2016年4月に「女性活躍推進計画」を策定しました。単に「長く仕事を続けられる」「育休が取りやすい」だけでなく、キャリアアップ志向のある女性社員のモチベーションが更に上がるよう活動を推進していきます。

期間: 2016年4月～2019年3月

目標: 係長級の役職者に占める女性割合を3年以内に30%以上とする。

現状:	係長級に該当する女性労働者の数	(A)	18名
	係長級に該当する労働者の数	(B)	74名
	係長級の労働者に占める女性労働者の割合	(A/B)	24.3%

今後の取組みとして、女性社員の育成に関する啓発を管理職に実施し、女性社員の育成計画を策定していきます。

東京支店移転

2016年4月にHSB鐵砲洲4階に東京支店を移転しました。耐震性に加え、非常用自家発電と貯水槽を完備しているビルです。停電時でも33時間の電力供給、断水時には約2,000回のトイレ排水が可能であり、大災害時でも社員の命を守れる環境となっています。



HSB鐵砲洲外観 撮影: 大野 繁

クラブ活動



当社には、野球部やテニス部をはじめとする9つのクラブがあり、社員の健康増進やコミュニケーションを上げる機会を提供しています。各クラブが参加する大会や練習試合などは、地域やお客様、お取引先様との交流を深める貴重な時間となっています。

本社、東京支店、栃木工場、神戸工場にあるフットサル部では、毎年年末に「カナエ杯」を開催しており、事業所の垣根を越えた交流もおこなわれています。

● 当社のクラブ

【関西地区】

野球部、テニス部、本社フットサル部、神戸工場フットサル部、本社・神戸マラソン部、釣り部

【関東地区】

東京支店フットサル部、栃木工場フットサル部、東京・栃木マラソン部

「地域社会とともに」

当社は、地域社会で共存共栄を図りながら企業活動を行うことが企業の社会的責任であると自覚し、社会貢献活動に積極的に取り組んでいます。

カナエの森(生物多様性の保全)

2014年3月より、大阪府が企業の森づくりの支援を行う「アドプトフォレスト制度」を活用し、岸和田市が主催する「フクロウの森 再生プロジェクト」に参画しました。岸和田市所有の荒廃林を多様な生物が暮らす本来の里山に復元する活動を行っています。

毎回多くの社員の方が参加され、汗を流し整備されてきたマダケの放置竹林は、平成28年11月には岸和田市民も参加して植樹イベントを行うところまでできました。一つ形が見え始めました。しかし、まだ半分ほど竹林は残っています。残った竹林の整備と竹を有効に活用する方法、植樹した所の細やかな手入れが一層必要となります。手を抜くとすぐに雑草が侵入する状態です。少しずつでもいいので、こまめに手を入れること・続けることが大切だと思います。汗を流す大変な作業ばかりでなく、楽しいこと(里山のめぐみで遊んだり、食べたり)もやりながら続けていきましょう。きっと自然もそれに応えて、すばらしい“カナエの森”になっていくでしょう。



NPO法人神於山保全くらぶ
田口 雅士さん

みちのく未来基金—震災遺児に進学の夢を—

「みちのく未来基金」は、東日本大震災によって親を亡くした子供たちの高等学校卒業以降の進学支援などを中長期的にサポートしていくことを目的とした基金です。

当社の支援は6年目に入り、2016年3月時点では、計526名の方が進学しています。



みちのく未来基金 第5期生の集い

Life Care & Produce



お問い合わせ先

株式会社カナエ 総務部

〒540-6023

大阪市中央区城見1丁目2番27号クリスタルタワー23階

TEL 06-6945-1223 FAX 06-6945-1614

